平成28年度

原田織物株式会社

会社紹介

Made in Japan の品質維持に誇りを持って 繊維製品の企画・製造・販売まで一貫対応

代表取締役 原田　晋平

原田商店として昭和24年に創業し、平成元年に法人組織化。創業以来70年以上にわたり、お客様に本当に満足いただける繊維製品を目指してものづくりを追求してきた。まだまだ機械ではできない工程が多く、日本の職人ならではの繊細なものづくりが息づく。商品は繊維生活雑貨の企画から製造・販売、さらには検品・パッケージングまで自社工場で一貫対応。無蛍光・ノンホルマリンを基本とし、綿やリネン、シルク等の天然繊維からポリエステル、ナイロン、アクリルなど、あらゆる糸を使用して、風合い、肌ざわり、使用感、デザインといったお客様の要望に応える。こだわりは高性能で高品質なMade in Japanの品質維持だ。

補助事業

新分野への販売網拡大を目指し 信頼性を高める環境設備を導入

食品や医療、精密機器業界といった新分野への販売網の拡大を図るため、OEMメーカーとして国内初のクリーンルームを設置した。さらに、それに伴う製造ラインの革新的な合理自動機械化を行い、品質・検品基準と製造環境を大幅に向上させ、より一層の信頼性を土台に売り上げの飛躍を目指した。課題となったのは、高度精密機器分野・医療レベルに通用する品質基準をクリアする環境機器の不足。過去の出荷において細心の注意を払いつつも、気密性に乏しい環境だったため、虫や髪の毛を含む異物混入の恐れが生じていた。また繊維製品特有のホコリ等を一掃する環境問題のほか、検品ルーム内でプリント商材の色摩擦堅牢度検査や検針機の台数不足のため、一度場外に戻す必要があった。

成　果

製造環境の改善と品質基準のアップ さらに作業効率の改善でスピードもアップ

品質・検品環境の向上と製造ラインの革新的な合理自動機械化を進めるため、最新鋭のクリーンルーム機器「エアシャワー機」と「気圧空調設備」を導入し、飛躍的に部屋全体の気密性が向上。検品ルームの入口で安易に異物混入を防ぐことができるため、品質環境レベルが向上した。また従来、検品後に別途検針と色落ち検査（堅牢度検査）を行っていたが、今回検品ルーム内で商品動線の流れに沿った位置に最新鋭の「検針機」と「色落ち検査機」を設置することで、作業効率の改善と検品ルーム内で完結できることで外からの異物混入等のリスクを軽減することができた。本事業を活用することで、長年構築してきた製造一貫体制の最後の砦である検品・出荷工程の環境が大きく改善。品質レベルで最も厳しいとされる食品・医療・精密機器業界への新規参入を果たし、また既存のお客様に対しても、今まで以上の安心・安全、短納期を提供することで、さらなる営業売り上げにつながった。

今後の展開

国内トップメーカーを目指し 技術者・営業人の育成にも注力

現在、サンプル数は2万点以上。小ロット・多品種・高品質に磨きをかけ、Made in Japanの品質をベースに、絶対的製造メーカーとしての優位性を確立することが可能になった。これらを基盤に、常に過去最高を上回るべく20億越えを着地点として精進。国内トップメーカーを目指しつつ、人手不足が深刻化する中で前向きに雇用を促進し、若手技術者・営業人の育成にも注力する。

会社概要

会社名	原田織物株式会社
代表者	代表取締役　原田　晋平
所在地	本社／和歌山県橋本市高野口町名古曽821
資本金	1,000万円
従業員数	160名（パート含む）
業種	繊維生活雑貨の企画・製造・販売
設立年月日	平成元年3月29日
TEL	0736-42-3509
FAX	0736-42-0400
E-MAIL	adomini@harada-orimono.co.jp
URL	https://harada-orimono.co.jp